

平成 26 年度 第 3 回二宮町環境審議会 議事録

日 時：平成 27 年 2 月 20 日（金）午前 10 時～11 時 30 分

場 所：二宮町役場 第一会議室

出席者：藤田会長 / 高瀬副会長 / 岡田委員 / 古澤委員 / 峯尾委員 / 土谷委員 /
二宮委員 / 久保田委員 /
筑紫町民生活部長

事務局：小島生活環境課長 / 須田生活環境班長 / 西山主査 / 青柳主事

傍聴者：1 名

1. 開会

2. あいさつ

（町長より）

環境と一口に言いましても多岐に渡っており、環境審議会は二宮町の将来像を決めていく中で意味が大変大きいと思っています。

今後 10 年、20 年、二宮町が守り残していくものと改善していくものがあるので、それぞれの専門の中から忌憚の無いご意見をいただけたら幸いです。

（会長より）

3 点申し上げます。

環境というのは非常に幅の広い分野に関連するので、施策を横断的に考えていかなければなりません。他市の環境基本計画を作成していたときに、環境基本計画は重要なので、環境基本計画の下に色々な施策を考えるべきと主張しましたができませんでした。そこで、色々な施策を包含するものとして一番下に環境基本計画を置いて、その上に各施策を並べることにしたところ、皆、賛成しました。取り組みや施策を連携させていくことが重要です。

2 点目ですが、ISO14001 を活用し、PLAN、DO、CHECK、ACTION で改善をしながら進むということが環境基本計画の基本的な考え方になっています。環境審議会が PDCA の中でどの位置にあるかという、CHECK です。CHECK の中でも行政の執行機関とは異なる外部からの審査です。内部と外部の CHECK が上手に噛み合うような形で進めていければと考えています。

最後に、具体的な取り組みになりますと行政各部局の調整の問題や、予算の問題が出てきます。知恵や工夫を活かしてハードよりソフトにウエイトを置く必要があります。環境審議会では、実現可能性にある程度配慮しながら議論を進めていければと思います。

3. 議題（1）「平成 25 年度 第 2 次環境基本計画実施計画の進捗状況」について

*事務局から資料 1「平成 25 年度二宮町第 2 次環境基本計画実施計画の進捗状況について

意見表」の「1【生物多様性の保全】多様な緑と水による自然の恵みが豊かなまち」の説明

[質問・意見等]

会 長：1-4.⑥「海岸保全対策事業」について、国の直轄事業を平成26年度からスタートしているということですが、現状どのように進んでいるか教えてください。

部 長：計画を練っている段階で、測量等、現地調査を主に行っています。状況が分かった段階で海岸復旧の動きが決まると思います。担当部署が、国土交通省と連携して行っています。二宮町だけでなく大磯町や小田原市の海岸も入っており、こちらも連携しています。

会 長：町の希望や意見が反映できるようになると良いと思います。

委 員：1-4.③「松の保全事業」の「町の対応」で、「松の植栽については、あくまでも地権者のご協力により実施していますので開発行為の中で介入するのは難しい状況です。」とあります。松は二宮町の大事な資源、財産だと思うので、もう少し積極的な対応を検討して欲しいと思います。この20年、松が無くなってきています。

委 員：共感しました。海外の友人が大磯町の松並木を「サムライ街道」と言い、とても喜びました。二宮町の景観を松で甦らせていただきたいという気持ちです。国道一号線に松があると、箱根駅伝でもきれいに映ると思います。

委 員：松は景観の上で非常に良いのですが、松食い虫がつきますので消毒が必要です。植えるだけでなく管理をしていかなければいけないという問題もあります。それらを念頭に置き、検討していかなければいけないのではと思います。

委 員：1-2.⑥「二宮せせらぎ公園におけるホタル観賞会」では、出現数を目標としていますが、目標達成のためにホタルの養殖等の仕掛けをしていますか。

部 長：養殖はしていませんが、水質管理や餌になるカワニナの確保、周りの草の管理等を行い、ホタルが自然発生しやすい環境を維持しています。

委 員：中井町の厳島湿生公園であった大きなイベントでは、ホタルの観賞もできたのですが、提灯や店が出ていてとても良かったです。せせらぎ公園で、他の動物等についても調査していただいて、ホタルの他にもPRを行い、町民全体が盛り上がるようなイベントを開催して欲しいです。

会 長：財政等の問題も出てくると思いますがご検討いただければと思います。

*事務局から資料1「平成25年度二宮町第2次環境基本計画実施計画の進捗状況について意見表」の「2【循環型社会の実現】環境にやさしい循環型のまち」の説明

[質問・意見等]

会 長：4月から始まるごみ処理広域化のポイントを教えてください。

事務局：町外の民間施設などで処理をする不安定な状態から、近隣自治体の平塚市、大磯

- 町と一緒に処理をすることで安定、安全、安心なごみ処理ができます。今後、広域処理を伴う分別変更に、町民の皆様にご協力いただくことが重要だと考えます。
- 部長：地域環境推進員の皆様にご協力いただき、各地区で24回説明会を開催します。参加者の方からは、慣れれば新しい分別のほうが出しやすいし、収集回数も増えるので便利になるという声があります。ただし、慣れていただくまで時間がかかることと、高齢者が対応できるかが心配です。最初は混乱するかもしれませんが、地域の方の協力を得ながら事業を進めていきたいと考えています。
- 委員：2-5.①「地元製品の消費促進【新規】」で、海の朝市で農業者の撤退が相次いでいるということですが、理由は何ですか。
- 委員：集客数が少ないからだと思います。販売量が少ないため撤退してしまったのではないかと思います。
- 会長：地産地消に他の形で取り組んでいくアイデアはありませんか。
- 委員：「道の駅」のようなものが考えられます。ただし、集客数、土地の問題もあります。
- 部長：ラディアン朝市と海の朝市が年に1回でも一緒にできないかという話も出ています。案の状態ですが、そういう中で集客力を高められればと思います。
- 委員：ブランド化が必要で、二宮ブランドを作ろうということをやっています。
- 委員：町の二宮ブランドへの係わりはどういったことですか。PRは町ですか。
- 部長：体制づくりをしています。また、ふるさと納税で二宮ブランドを特典商品にしています。PRは町と観光協会と商工会です。
- 委員：オリーブについてですが、実から油は5%しか取れません。二宮町だけでは足りないので、近隣の市町にも話をしています。大きな機械を導入する必要があるため、連携をしないと管理できません。湘南ブランドとしてうまくいくかどうかはまだ分かりません。
- 委員：地元の人を対象に考え、地産地消を基本計画に入れたと思います。今、二宮町内で買い物をするとしても肉、魚、野菜が一か所で買える商店街がありません。買い物行動の中で、地産地消が可能か検討をしていただけないでしょうか。
- 委員：そのためには、品数を多く作っている生産者を集めないといけません。スーパーマーケットのように品数を集めることが難しいです。
- 委員：商店街に集客力がありません。例えば、コンビニエンスストアなどは配達してくれます。外に出ることができない人でも使い勝手が良いです。一か所で用が足りるような大型店舗にも客が集まると思います。
- 会長：地で産み、地で消費するというのが原点ですから、どのように実現していくかは大きなテーマだと思いますが、難しい部分があります。
- 2-2.①「簡易粉碎機の貸出（剪定枝）」で、広報紙で啓発したらまた使用され始めたというのを見て、広報というのは改めて必要だと感じました。
- 2-3.②「ごみ置場散乱防止対策（カラスネット配布）」については、評価の考え方として「更新件数、新規設置件数などの状況も踏まえて評価していく」とあり、

非常に改善された印象を受けました。

*事務局から資料1「平成25年度二宮町第2次環境基本計画実施計画の進捗状況について意見表」の「3【低炭素社会の形成】地球環境の保全に取り組むまち」の説明

[質問・意見等]

委員：二宮小学校の屋上に、平成27年度に太陽光発電設備及び蓄電池を設置する予定があると思いますが、エコカーと連動させることはできますか。災害時、救助に使用するためのエコカーを想定しているのですが、いかがでしょうか。

部長：11.1kWの太陽光発電設備で、エコカーの分まで賄える発電量は見込めません。

事務局：補助金を使用するときの制限があり、避難所の最低限の必要電力を賄うもののみとなっていますので、それ以上のものは過剰設備となり設置できません。

委員：蓄電池のサイズはどのくらいですか。

事務局：15kWhです。

委員：EV車のほうが24kWhでたくさん蓄電できるので、EV車を買って蓄電池として使用すれば効率的で低コストだと思います。

会長：二宮町には、日当たりが良く沢山発電しそうな屋根が多く見られます。自然エネルギーを活用して町の利益になっていけば良いと思います。

*事務局から資料1「平成25年度二宮町第2次環境基本計画実施計画の進捗状況について意見表」の「4【計画の推進方策】3つの基本目標に共通する取り組み」と「実施計画全体進捗状況 評価、課題等」の説明

[質問・意見等]

委員：「町の対応」に「中期計画で検討する」という言葉がでてきますが、「検討した結果できない」ということがありえますか。それとも、「細かく検討し、より具体的な案を出して事業実施していく」と前向きに捉えてよろしいでしょうか。

事務局：中期計画を策定する中で「実施できない事業」も出てくると考えています。

会長：「4【計画の推進方策】」については、評価について検討しきれていない部分があるので、中期計画の中で再検討していく必要があるとは思っています。

3. 議題(2)「第2次環境基本計画実施計画評価シート」(案)について

*事務局から資料2「第2次環境基本計画実施計画評価シート(案)」の説明

[質問・意見等]

会 長：特に無いでしょうか。よろしければ、このフォーマットで各関連部局に事務局からお願いしていただくことにします。

3. 議題（3）「第2次環境基本計画実施計画【中期】」の作成方針（案）について

*事務局から資料3「二宮町第2次環境基本計画実施計画中期実施計画」の作成方針（案）について（参考案）」の説明

[質問・意見等]

委 員：重点施策を設定することは良いと思います。平成26年度の評価シートから抽出した課題などは10月の中期実施計画に反映されるということですか。

会 長：中期計画と平成26年度の評価は並行できるところは並行し、ポイントだけでも課題を押さえることができればと思います。

3. 議題（4）その他

*事務局から資料4「平成27年度の環境審議会予定について」「第2次環境基本計画実施計画評価の流れ」の説明

会 長：今期の環境審議会としては中期計画をしっかり作っていくことに注力していくことになると思いますので、よろしくお願いします。

4. 閉会